

三内丸山通信

平成26年12月16日

青森県教育庁文化財保護課

三内丸山遺跡保存活用推進室

〒030-8540 青森市新町2丁目3-1

TEL (017) 734-9924

FAX (017) 734-8280

三内丸山遺跡縄文時遊館

〒038-0031 青森市三内字丸山305

TEL (017) 781-6078

FAX (017) 781-6103

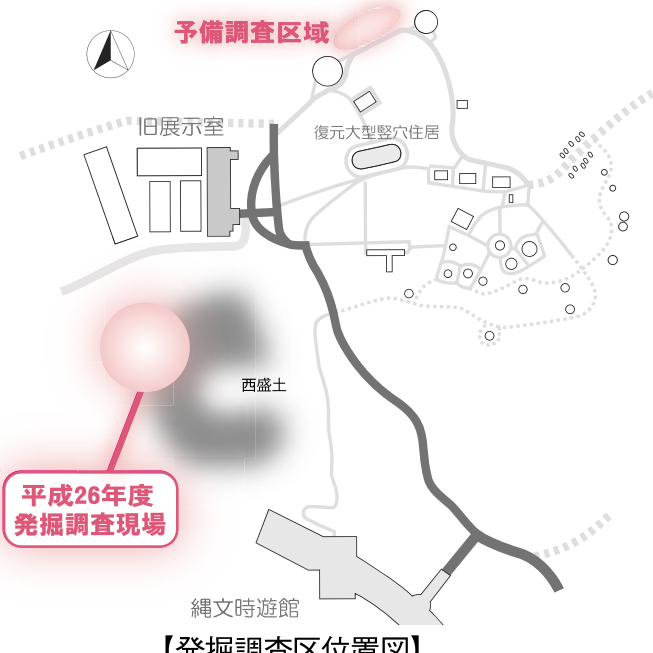
URL <http://sannaimaruyama.pref.aomori.jp/>

発掘調査終了

三内丸山遺跡の発掘調査が十月十日で終了しました。今年度は、遺跡西側の丘陵部に位置する「西盛土」の北西側を調査し、**堅穴建物跡、道路跡、溝状遺構、土坑墓、柱穴**などを確認しました。中でも特に注目されるのは溝状遺構です。

とが分かりました。断面は逆台形で、底面が北東方向へ緩やかにかたむいていくことも確認しました。高低差は約1mにもなりません。溝の中に入っていた土を観察したところ、自然に埋まったものではなく、人が埋めた可能性が高いことがわかりまし

た。また、水が流れたような跡や、いくつかの遺構が重なり合った様子は確認されませんでした。さらに**炉跡や柱穴**などは見つかっていない



【北東から見た溝状遺構】

め、**堅穴建物**跡ではないと考えられます。北東端は、西盛土とは重ならない可能性がありま



【溝状遺構から出土した土器】

このように溝状遺構は、丸くめぐるものが、北海道苦小牧市の静川遺跡や千歳市の丸子山遺跡などで、中期中葉～末葉（約四千五百～四千年前）に作られたものが確認されています。今回見つかった溝状遺構はそれらよりも古く、直線的なものです。同じような例は見られず、大変貴重なものです。また、縄文時代前期末に、大型堅穴建物などとともに、大規模な土木工事が遺跡内で行われていたことを示す資料でもあります。

平成26年度企画展「北盛土の様相」

平成27年3月1日(日)まで、さんまるミュージアム企画展コーナーにて「北盛土の様相」を開催しています。

三内丸山遺跡にある3つの盛土のうち、北盛土の発掘調査成果を紹介しています。段ボール箱で9,000箱にのぼる膨大な遺物から、土器や石器、土偶、土製品、石製品など様々な出土品を展示しています。

皆様のお越しをお待ちしています。



【企画展の様子】



縄文遺跡群世界遺産登録推進 国際シンポジウム開催

「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録に向けて、青森県では、北海道、岩手県、秋田県、それに遺跡がある関係市町と連携し、推薦書の作成やPR活動など共同で取り組みを進めており、国際シンポジウムを九月十三日（土）に秋田市で開催しました。



【国際シンポジウムの様子】

シンポジウムは、縄文遺跡群の持つ価値を世界へどのように伝えるか、また、遺跡を訪れる人たちが縄文文化を正しく理解できるように、地中の遺跡を保存しながら活用するにはどうすればよいか、などをテーマに国内外の考古学の専門家が意見を交わし、その内容を広く地域の方々にも

知ってもらうことを目的としたものです。

今回のシンポジウムでは、郭旃（グオ・チャン）イコモス副委員長ら3名の海外専門家を招き、「JOMONの魅力と価値をいかに伝えるか」をテーマにパネルディスカッションが行われました。海外専門家からは「縄文遺跡群は世界遺産にふさわしい価値を持っている。推薦に向けた取組みを積極的に続けてほしい」、「縄文時代が長く続いた理由の一つに、魚や植物などをむやみに捕りすぎなかったことがある。その文化を現代の私たちに伝えることはとても重要である」、「縄文文化が気候変動や環境変化に関わらず何千年も継ぎ目なく続いたことに価値がある」など、高い評価をいただきました。

また、シンポジウムに先立ち現地視察が行われ、九月十日（水）には三内丸山遺跡に訪れました。今年見つかった大規模な溝状遺構の発掘現場や露出展示されている南盛土の様子などを視察した海外専門

門家から、質問や保存についてのアドバイスを受け、世界遺産登録に向けて貴重な話やうかがう機会となりました。



【三内丸山遺跡の視察】

**みんな集まれ！
縄文祭り**

九月六・七日に縄文大祭典を開催しました。発掘調査現地説明会では、今年度発掘された遺構や出土品について担当者が説明し、参加者は興味深く聞いていました。この他、フォーラムや

お月見コンサートなどのイベントも行われました。



【現地説明会の様子】

【縄文秋祭り】

十月二十五・二十六日にさわやかな秋晴れの下、縄文秋祭りを開催しました。縄文パノラマビューでは、陸奥湾や八甲田の山々がきれいに見える、参加者から好評でした。「縄文の音色！？」さんまる演奏会」では、参加者が丸太で作られた楽器などを打ち鳴らし、音色を奏でていました。



【縄文パノラマビュー
（高さ15mからの風景）】

【縄文冬祭り】

平成二十七年二月十四・十五日に縄文冬祭りを開催します。雪にちなんだ色々なイベントを行う予定です。内容が決まり次第、ホームページやチラシ等でお知らせします。皆様のお越しをお待ちいたしております。

**楽しかったよ
縄文体験**



三内丸山遺跡では、遺跡や縄文文化に触れる「さんまる縄文体験」を毎年実施しています。夏休みには「発掘をし

てみよう」を行いました。参加した子どもたちは、発掘調査の方法を学んだ後、実際に遺跡を発掘しました。また、自分で発見した土器や石器の位置を器械で測定する作業も体験しました。

さんまる縄文体験は来年度も実施する予定です。



【発掘をしている様子】

三内丸山遺跡のご案内

休館日 見学料
12月30日～1月1日 無料

開館時間
10月～5月は9時～17時 6月～9月は9時～18時
（入場は閉館の30分前まで）

さんまるミュージアムの定時案内
10：30～、13：30～の2回行っています。
所要時間：約20分

ボランティアガイドの定時案内
1回目は9時15分から
その後は10時から1時間ごと、最後は15時30分から
（所要時間：約50分）
見学のお問い合わせ先：017-766-8282（三内丸山応援隊）

交通機関

- 青森市営バス
JR青森駅から⑥番乗り場「三内丸山遺跡」行き
三内丸山遺跡前で下車 料金310円 約25分
- ねぶたん号
JR新青森駅東口から③番乗り場
三内丸山遺跡前で下車 料金200円 約18分